**演習１**

**①以下の空欄に、自立相談支援事業の各支援員に求められる「倫理と基本姿勢」を記入してください。３分間でお願いします。**

＜３つの倫理＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | ２ | ３ |

＜８つの基本姿勢＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | ４ | ６ |
| ２ | 　　　８つの基本姿勢 | ７ |
| ３ | ５ | ８ |

正確でなくても、思い出せること、必要だと思う内容を

この場で考えて書き入れてください！

ワークを通じて考えてみましょう。

裏面に「答え」がありますが、まずは、何も見ないでご記入ください！

＜出典＞

新保美香（2018）「【前期】共通プログラム『【講義と演習③】支援員に求められる倫理と基本姿勢』講義資料」（平成30年度自立相談支援事業従事者養成研修）

**②倫理と基本姿勢に対するご自身の現状を見直してみてください。（２分間で）**

**③自己点検した結果を、チームでわかちあってください。　　　 （3分間で）**

**＜３つの基本倫理＞**

|  |
| --- |
| □　**１．　権利擁護**　　　　　　①　尊厳の保持　　②　本人の主体性の確保 |
| □　**２．　中立性・公平性** |
| □　**３．　秘密保持** |

**＜８つの基本姿勢＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **□１．信頼関係の構築**□　受容的対応□　傾聴□　感情表現を手伝う | **□４．家族を含めた支援**□　家族全体を捉える□　家族も支援の対象□　チーム支援の必要性 | **□６．チームアプローチの****展開**□　連携のとれたチーム□　支援員は調整役□　利用者の了解を得る |
| **□２．ニーズの的確な把握**□　ニーズは解決すべき本質的な課題□　多面的な理解□　ニーズ把握は丁寧に | 　支援にかかわるすべての人が心にとめておくべき重要な内容です。 | **□７．さまざまな支援の****コーディネート**□　ニーズに即した調整□　多くの選択肢の提示□　丸投げしない支援調整 |
| **□３．自己決定の支援**□　自己選択による自己実現を支援□　エンパワメントアプローチ□　強みに着目した支援 | **□５．社会とのつながりの****構築**　□　社会参加は自立の土台□　本人を支える環境整備□　仲間や居場所の意義 | **□８．社会資源の開発**□　地域状況の理解□　既存の資源の理解□　新たな資源の創設 |

**ミクロレベル　　　　　 メゾレベル　　　　メゾ～マクロレベル**

**＜５つの支援のかたち＞**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **１．包括的** | **２．個別的** | **３．早期的** | **４．継続的** | **５．分権的・創造的** |

**＜２つの制度の目標＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **１．生活困窮者の自立と尊厳の保持** | **２．生活困窮者支援を通じた地域づくり** |

＜出典＞

新保美香（2018）「【前期】共通プログラム『【講義と演習③】支援員に求められる倫理と基本姿勢』講義資料」（平成30年度自立相談支援事業従事者養成研修）

**演習２**

**これから講師が伝えるものを、順番に以下に描いてみてください。**

人それぞれの多様性を体感できるワークです。

また、「伝える」ことの難しさを実感できるワークでもあります。